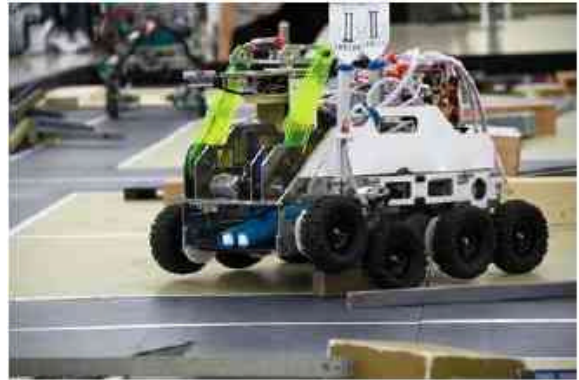


活動助成（2009 年度募集）活動実績報告書

団体名	レスキューロボットコンテスト実行委員会
活動テーマ	第10回レスキューロボットコンテスト



8 輪ロボット（ベストロボット賞）

レスキューロボットコンテストは、1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに生まれた、「レスキュー」を題材にしたロボットコンテストです。このコンテストを開催する趣旨には、(a) 救助活動に対する啓発、(b) 技術的成果の社会への還元、(c) 創造性を育む場や機会の提供、(d) 新しい研究テーマや製品アイデアの発掘、などの多面的な意義が含まれています。このような趣旨に基づくコンテストであるため、その実行組織であるレスキューロボットコンテスト実行委員会は、単なるコンテストの開催だけではなく、「技術を学び、人と語り、災害に強い世の中をつくる。」を理念として、「教育」・「科学技術」・「社会」の三つの軸に大きく寄与することを視野に入れながら、毎年、このロボットコンテストを開催しています。

チームの応募締め切りの2010年1月末までに23チームからの応募があり、書類選考により、主催者枠2チームと一般選出の21チームの計23チームを採択しました。5月30日には、各チームから提出されたビデオを審査し、予選に参加する20チームを選抜しました。7月4日に行われた競技会予選では、本選よりも簡易なルールで競技を行い、評価の高いチームとアイデアに優れた12チームを選出しました。このように厳しい予選を勝ち抜いてきたチームが、いよいよ8月7・8日に開催された本選において競いました。本選は予選会と同じ会場で実施され、8月7日はファーストミッションを行い、その中の上位4チームがファイナルミッションへ、5位～12位が翌日に行われるセカンドミッションへ進出しました。そして、8月8日のセカンドミッションの上位2チームを加えた全6チームによって、ファイナルミッションを行いました。

詳しくは、レスキューロボットコンテストのホームページをご覧ください。